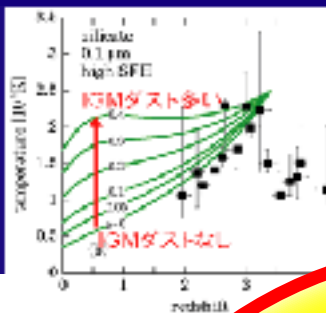


宇宙物理学教室 理論グループ

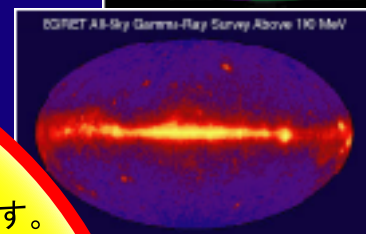
稲垣 省五 (教授 4号館503 : inagaki@kusastro.kyoto-u.ac.jp)
 戸谷 友則 (助教授 4号館403 : totani@kusastro.kyoto-u.ac.jp)
 釜谷 秀幸 (助手 4号館517 : kamaya@kusastro.kyoto-u.ac.jp)

PD: 山崎 達哉 D1: 織田 岳志、小林 正和
 M2: 鈴木 崇弘、田中 陽平、成木 拓郎、福江 翼、三井 晴可

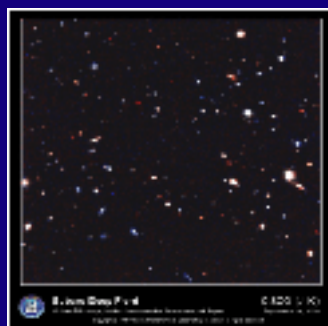
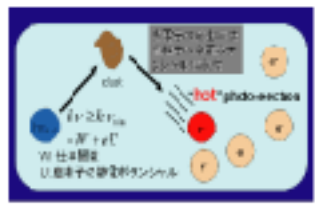
銀河間物質の熱史の理論モデルを構築している。特に、その存在自体が未知である銀河間ダストの存在性に迫った。銀河間ダストの存在量から、宇宙の星形成史への制限も得られる。



宇宙の物質構成は未知の暗黒物質と暗黒エネルギーに支配されている。その起源を明らかにする研究が続いている。特に、暗黒物質が対消滅して放出するガンマ線などの検出可能性を精力的に検討している。

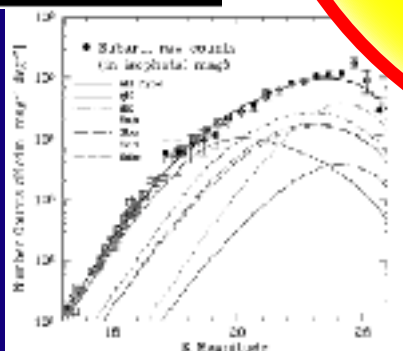


ダスト光電効果

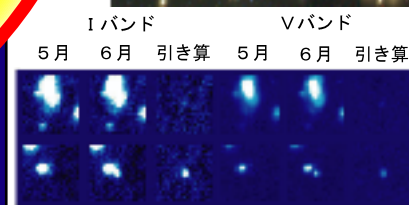


宇宙物理学教室理論グループでは、宇宙物理学の様々な問題に対して理論的側面からアプローチを行なっています。手法はアイデアと紙と鉛筆だけのものから、コンピュータシミュレーション、さらには時に観測家と共同して、観測計画の立案や実際に観測に行ったりもしています。当グループのスタッフがカバーする主な分野は、観測的宇宙論、銀河や宇宙の大規模構造の形成・進化、コンパクト天体の活動現象、高エネルギー天体物理学、星・惑星系形成、星間物質の物理学などです。

当グループでは学生自身の自主性を何より尊重していますので、これ以外の分野でも、学生による積極的なチャレンジを推奨・サポートします！



観測される銀河の数の理論的予測とすばる望遠鏡を用いての観測結果の比較。理論値と観測値がよく一致している。これにより銀河の形成や進化、宇宙の星形成史などに重要な知見が得られている



宇宙の星形成史を解明するための、すばる望遠鏡を使った遠方超新星の探査。理論的予測をし、実際に観測も行なっている。

講演会：4号館4階講義室(414)にて
 ① 10時45分～12時
 ② 13時30分～14時45分
 研究室訪問：随時